環境関係部課長会議　会議録

１　日　時　　令和元年７月１１日（木）午後１時３０分～
２　会　場　　愛知県自治センター４階大会議室
３　当番市　　弥富市
４　出席者　　愛知県環境局環境政策部環境活動推進課課長補佐（環境学習Ｇ班長）
髙橋　直美
愛知県環境局資源循環推進課課長補佐（一般廃棄物Ｇ班長）　儀員　裕文
愛知県環境局資源循環推進課廃棄物監視指導室室長補佐（指導Ｇ班長）
西野　正洋
名古屋市環境局総務課企画係長　伊藤　直起　始め４２名
市長会事務局財政係長　園田　一樹　始め２名

５　内　容
開　　会　市長会事務局財政係長　園田　一樹
あいさつ　愛知県環境局環境政策部環境活動推進課課長補佐（環境学習Ｇ班長）
髙橋　直美
愛知県環境局資源循環推進課課長補佐（一般廃棄物Ｇ班長）　儀員　裕文
愛知県環境局資源循環推進課廃棄物監視指導室室長補佐（指導Ｇ班長）
西野　正洋
議長選出　弥富市環境課長　柴田　寿文
議　　題

【議題１】環境教育の推進について（岡崎市提出）
提案市（岡崎市）により補足説明を受ける。
各市における対応について提案市が指名し、説明を求める。
【名古屋市】
環境サポーター（市民ボランティア）を募集し、派遣対象（幼稚園・保育園・小学校）の求めに応じて派遣をしている。環境サポーターは誰でもなれるわけではなく、一定の講座を修了した者を環境サポーターとして委嘱している。また、どのような授業・体験ができるかを示した冊子（プログラム一覧）をあらかじめ派遣対象等に配布をしており、その冊子から希望講座を選択してもらい、その分野に特化した環境サポーターを派遣している。補足情報として、「対象プログラム数は 89 個（平成 30 年度）」「サポーターは任期 3 年（更新可）」「一度の講座につき派遣可能人数は原則 3 名まで（上限５名）」「１回の派遣につき 1,500 円を支払い」「平成 30 年度実績で全体 386 件、延べ 909 名の環境サポーターを派遣」。

【岡崎市】
　環境サポーターになるには、一定の講座を修了した者とのことであったが、どのような内容の講座なのか。

【名古屋市】
　環境サポーターが求められているもの（各派遣対象からの要望から）、市からの最新環境施策を伝える講座内容。但し、必ずしも前述の講座を受けたものだけではなく、自然観察指導員や環境カウンセラー等の同等の能力を持つ方を環境サポーターとして認定することもある。

【江南市】
　環境アドバイザーの派遣事業は平成 25 年から実施している。きっかけは愛知県の地球温暖化防止活動推進員からの「名古屋市が環境サポーター制度を導入しており、江南市もそのような制度を導入して欲しい」という意見から。事業内容は、保育園・小学校・図書館・町内会及び各種団体等が、江南市内で 10 名程度の参加が見込まれる環境プログラムを実施する際にアドバイザーを派遣するもの。現在、登録講座数は 26 個あり、アドバイザー登録数は 74 名。平成 30 年度は派遣回数 134 件、参加人数約 3,000 人。アドバイザーは名古屋市と同様に環境カウンセラー・地球温暖化防止活動推進員・自然観察指導員・江南市にボランティア登録のある NPO・団体である。今年度より新規アドバイザーの募集を開始し、2 名が養成講座を受けて、アドバイザーとなった。保育園での人気プログラムは、園庭での自然の恵み学習、小学校での人気プログラムは地球温暖化の話となっている。

【岡崎市】
　報酬はいくらか？

【江南市】
　派遣講師 1 人につき 1,000 円、但し 1 回の講師は 5 人までのため上限 5,000 円。

【議長】
　提案市以外に質問等があれば、自治体名と名前を名乗り、発言をお願いする。

【知立市】
　資料の修正をお願いしたい。環境教育を実施しているかという項目について、実施していないとなっているが、実際は実施している。内容としては、小学生向けの副読本を使ったもの、出前講座（直営）、過去には水生生物調査（平成 27 年度まで）。

【瀬戸市】
　小学生向けの副読本とは知立市独自で作成した物か、また環境に特化した物か。

【知立市】
　市の職員が作った物（内容はごみ処理の流れ等）である。

【愛知県環境局環境政策部環境活動推進課課長補佐（環境学習Ｇ班長）高橋　直美】
　環境学習は予算が付きづらい、到達点が見えづらいという課題がある。また、内容のマンネリ化、教え手の高齢化等の課題もある。最終的な目標は、環境学習を通じて市民それぞれが主体的に行動してもらうことと考えている。
　県としては、環境学習の手法を直接示すとともに、どうやったら住民に受け入れてもらえるか、継続的に続けられる環境作りが重要だと考えている。啓発コンテンツ・ツールの作成など、学校や地域の方に環境学習が受け入れてもらえるように県としても動いている。今回の資料から多くの市町村が環境学習を行っていることが判明したので、各種コンテンツ・ツール（AEL ネット等）を活用していただきたい。

【議題２】道路上の動物の死骸処理について（犬山市提出）
提案市（犬山市）により補足説明を受ける。
【犬山市】
　昨年度、清掃業者（回収処理業者）より委託費用を上げてくれという要望があった。それを受けて委託費用を上げた。各市の状況をお伺いしたい。

各市における対応について提案市が指名し、説明を求める。
【犬山市】
　日進市に 1 点伺いたいが、平成 29 年度に愛知県の担当者と電話にて協議を行って以降は愛知県が処理しているとのことだが、田原市のように協定を結んでいるのか。電話のみでのやり取りか。

【日進市】
　電話のみ。協定は交わしていない。また、国道に関しては国に処理をお願いしている。

【犬山市】
　愛知県に見解を伺いたい。各市で対応がバラバラだがその理由が分かれば教えてほしい。

【市長会事務局 財政係長 園田 一樹】
　今回は環境局のみの出席なので回答は出来ない。

【議題３】ごみゼロ運動等におけるごみの分別の仕方及び回収方法について（稲沢市提出）
提案市（稲沢市）により補足説明を受ける。
【稲沢市】
　ごみゼロ運動は年２回行っている。分別種類は、燃えるごみ・燃えないごみの２つ。住民からペットボトルと空き缶はリサイクル資源ではないかという問い合わせがあった。確かにリサイクル資源であり、ごみゼロ以外の通常はリサイクル資源として排出をお願いしている。ごみゼロの際には、汚れたもの等リサイクルできないものは不燃で対応しているが、各市の状況を伺いたい。

各市における対応について提案市が指名し、説明を求める。
【稲沢市】
　豊川市は直営回収ということであるが、通常回収業務に加えて回収を行うことになるが、通常回収業務に支障はないのか。

【豊川市】
　ごみゼロ分は土曜・日曜に実施しているため、通常業務に支障はない。

【稲沢市】
　あま市は無償で業者に協力をお願いしているが、通常業務と合わせて回収するので無償で良いということなのか、もしくは別日で回収しても無償で良いということなのか。

【あま市】
　通常業務と合わせて回収するが、ごみゼロ分は別車で回収を行っているので大丈夫という認識である。

【愛知県環境局資源循環推進課課長補佐（一般廃棄物Ｇ班長） 礒貝 裕文】
　県としては、毎年５月末から６月初旬をごみ散乱防止週間としている。海ごみゼロウィークも今年度から始まった。レジ袋有料化の義務化も進むので、不法投棄・ポイ捨て撲滅のためにも、このような一般の方を対象にした取り組みは重要（先ほどの環境学習も含め）と考えている。海洋廃プラスチックごみに関する啓発資材を作成しているので、是非講座等で活用していただきたい。食品ロスについても新しい啓発資材を計画している。
【議題４】新しいタイプの墓地（合葬式墓地等）の整備計画について（知多市提出）

提案市（知多市）により補足説明を受ける。
【知多市】
　平成 27 年度以降、市営墓地区画返還申請が市営墓地新規利用申請を上回っている。返還申請時の聞き取りから、合葬式の墓地の需要が高いことが判明した。今後の整備計画の参考としたいので、各市の回答を受けて個別に質問をさせていただく予定である。

【議題５】プラスチックの処理について（北名古屋市提出）
提案市（北名古屋市）により補足説明を受ける。
【北名古屋市】
　先般、環境省より廃プラスチックの処理について要請があったが、一般廃棄物処理計画や処理施設のキャパ、区域外処理手続き、搬入車両の増加による住環境の悪化という問題が考えられる。同様に、容器包装リサイクル法による容リ協会からの合理化拠出金が打ち切りになることを受けて、今後の対応を考えなければならない。

各市における対応について提案市が指名し、説明を求める。
【北名古屋市】
　そこで、一宮市・日進市の状況を伺いたい。一宮市については、今後受入れに応じると回答しているが、一般廃棄物処理計画や周辺環境への影響も考慮した上での回答か。日進市については、容リルートの代替え案を考えているか。

【議長】
　回答に先立ち、修正等有れば発言をお願いしたい。
【高浜市】
　応じると回答しているが、未定と訂正をお願いしたい。
【稲沢市】
　応じると回答しているが、未定と訂正をお願いしたい。

【一宮市】
　応じると回答はしているが、焼却施設でカロリーの高いプラスチックを燃やすことによる施設へのダメージ、条例やごみ処理計画、周辺環境への影響も含めての検討が必要と考えている。

【日進市】

資源回収事業に対して、金額が大きいので外部評価の対象となった。回収されたプラスチックはほぼ焼却に回されている状況であり、本当に容リルートは必要であるかを検討している状況。

【日進市】
廃プラスチック処理について愛知県の方に伺いたい。県内処理施設で処理が滞っている業者はあるのか、インターネットの記事で財政的支援があるのを見かけたが、本当にあるのか。
また、愛西市はプラスチック類ごみとして収集し、処理しているとのことだが、どのような方法で処理しているのか。

【愛知県環境局資源循環推進課廃棄物監視指導室室長補佐（指導Ｇ班長）西野 正洋】
県としても昨年の中国の一件から注目しており、県内大量排出業者等に対して立ち入りや聞き取りを行ったが産業廃棄物の滞留状況について、大幅な変化は見られない。（廃プラスチック排出状況の確認等の）財政的支援について、そのような支援制度は聞いていない。

【愛西市】
焼却処理をしている。

【一宮市】
今回の廃プラスチック緊急措置を受けて、もし受け入れる場合、施設修繕を伴わない場合、一般廃棄物処理計画を見直すべきなのか。

【愛知県環境局資源循環推進課廃棄物監視指導室室長補佐（指導Ｇ班長）西野 正洋】
現在、今回の緊急措置についての問題点を洗い出しているところである。廃プラスチックがどのくらい滞留していて、どのくらい受け入れられるのかをアンケート等で探っている。
計画変更の必要性を始め、カロリーの高いものを受け入れると修繕頻度が増えるので、その負担をどうするのか、周辺住民への説明、目的外使用の届出等も課題となる。その課題をまとめて国に投げかける予定でいる。急に廃プラスチックを受け入れてくれと言うことはない。随時情報提供を行っていくので、気づいた点があれば逆に教えてくれると助かる。

【議題６】その他
特になし

6　次年度当番市の決定について

市長会事務局　財政係長　園田　一樹　【みよし市】

7　閉　会

市長会事務局　財政係長　園田　一樹